

シラバス

指定番号 120

商号又は名称：社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解することができるように指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	<講義内容> ・認知症ケアの理念…パーソンセンタードケア、認知症ケアの視点（できることに着目する）について理解する。 <通信学習課題> ・認知症ケアの理念と視点。
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<講義内容> ・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理…認知症の定義、もの忘れとの違い、せん妄の症状、健康管理（脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア）、治療、薬物療法、認知症に使用される薬について理解する。 <通信学習課題> ・認知症の原因。認知症の原因疾患とその病理及びケアのポイント。
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	<講義内容> ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴…認知症の中核症状、認知症の行動・心理症状（BPSD）、不適切なケア、生活環境で改善について学ぶ。 ・認知症の利用者への対応…本人の気持ちを推察する、プライドを傷つけない、相手の世界に合わせる、失敗しないような状況をつくる、すべての援助行為がコミュニケーションであること、身体を通じたコミュニケーション、相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する、認知症の進行に合わせたケアについて理解する。 <通信学習課題> ・認知症の症状。認知症の人への対応。
④ 家族への支援	1	0.5	0.5	<講義内容> ・家族への支援…認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減（レスパイトケア）について理解する。 <通信学習課題> ・家族介護者への支援。レスパイトケア。
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。